

---

# 人魚姫のまがうた

一宮咲

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

人魚姫のまがうた

### 【Nコード】

N4091K

### 【作者名】

一宮咲

### 【あらすじ】

もしも、人魚姫が現代に生まれ変わり、それでもって記憶も持っていたら？自分の前世の物語を読んだ時に、彼女は何を思うのか。爪の先ほどの、微々たるホラーです。

昔々、深海に人魚姫がおりました。

愛する王子を殺す事の出来ない人魚姫は海に身を投げて泡になり、天国へ昇っていきました。

海鳴りの音がきこえる。

黒い波が上下にうねる中、波間に姉さまたちの顔が見えた。

口々に何かを叫んでいている。

年の一番近い姉さまは、無残に切られた髪を頬に張り付かせて目から大粒の涙を流していた。

他の姉さまたちも。

手に握るのは、銀の短剣。

見つめると、船のかがり火をうけて刀身がきらりと光る。

暗闇の中、するりと王子の部屋にすべりこみ、息を殺して寝台に近づく。

規則正しい安らかな寝息がきこえる。

屈みこみ、のぞき込むと、嵐の夜から変わらない王子の顔が見えた。

震える手で細身の短剣をにぎり直し、か細い息を吸い、止める。  
意を決して銀の凶器を振り上げる。

愛しい王子、憎い王子。

それでも、自分の全てよりも大切な存在。

彼の笑顔が脳裏をかすめた。

気がつく、そろそろと部屋を出ていた。

できなかったのだ、自分は。

王子を殺す事が。

涙が出た。温かい涙は冷たい肌をつたって落ちる、次々と。

目の前には黒い海。

何もかもを飲み込むような深淵しんえんの黒。

ふらりと身体がかしいで、人魚姫の身体は海に消えた。

少女は、ぱたりと絵本を閉じる。

そして、手元にあつたお気に入りのクマのぬいぐるみを、きゅつと抱きしめた。

かわいそうな人魚姫。

小さな息を、赤い唇から吐き出した。

かわいそうな人魚姫。そしてバカな人魚姫、そう 本当に  
バカだったわ。

8歳という年齢にそぐわない苦笑いが幼い顔にまがまがしく浮かぶ。

あの愚かな王子おろが、人魚姫の苦しみなんてわかったとは、思えない。  
い。

泡になるときの身を焼かれるような苦痛と恐怖なんて想像もつかない奴だ。

どうせ、王子はのうのうと隣の国の姫と暮らしたに違いないのだ。  
人魚姫がいなくなったことなど、毛ほども感じずに。

人魚姫は夢をみたのだ。美しい存在しない夢。

今度は

今度こそは

間違えない。あのやさしい青い海に帰るのだから。

淡い色の波打つ金髪を人差し指にからめて考えていると……  
一階からママの声がきこえてきた。

「ミリー、ミリー……どこにいるの？下にいらっしやい！」  
ピンクと白のこども部屋を出て、白い階段を降りていく。

玄関に知らない人たちがいる。

洒落たスーツを着て背の高いがっしりしたおじさんと、ちょっと神経質そうだけどすらりとした身体で栗色の髪が美しいお婆さん。

二人の側には、少年がいる。

「ミリー、この前話していた、お父さんの上司のバリーさんよ。

ご家族でお隣に引っ越していらしたの。息子さんのブレンダンくんはあなたと年が近いらしいわ。

お友達が増えてよかったわね」

明るく弾んだ調子で、ママは言った。

私は少年にくぎ付けになった。両親のバリー夫妻に似ていて少年は背が高い方だった。

髪は母親似で栗色の髪、瞳はアイスブルー。こどもといえど、整った顔立ち。

海鳴りの音がきこえる。

ひと際、高く低く。

少女は少しうつむくと、赤い唇の端を笑みの形にゆがめた。

大人たちの誰も、おじさんも、お婆さんも、ママも気づかない。  
もちろん、少年も気がつかない。

少女の顔に浮かんだ黒々とした喜びの表情に。

私は顔を上げ、極上の笑顔を浮かべた。

早咲きのバラが咲き誇<sup>ほこ</sup>っているように、すがすがしく、かわいらしい笑み。

その笑顔の下には、胸をもつらぬくトゲが隠されている。

「はじめまして、ブレンダン。私はミザリー、よろしくね」

**（後書き）**

こんにちは、初の投稿作品です。  
あまり書く速度が速くないですが、  
ぼちぼちがんばる所存です。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4091k/>

---

人魚姫のまがうた

2010年10月9日02時27分発行